

■特長■

- 当装置は、DMX512による外部信号で、1回路AC 0~200v出力、最大10Aの調光制御を行うことができます。
- 外部動作信号にかかわらず負荷を調光することができます。
- 外部動作信号のない場合、本体ボリュームにて明るさを調整できます。
- LANケーブルを挿すだけで操作器には電源が供給されます。
電源は不要です。(ただし、操作器の種類により必要な場合もございます。)
- 電源、負荷出力がコネクター仕様のため、まし締めメンテナンスが不要です。

■定格および主な仕様■

電源 1Φ2W AC100V/200V

消費電力 約4W+負荷消費電力

出力回路 1回路 AC100V/200V

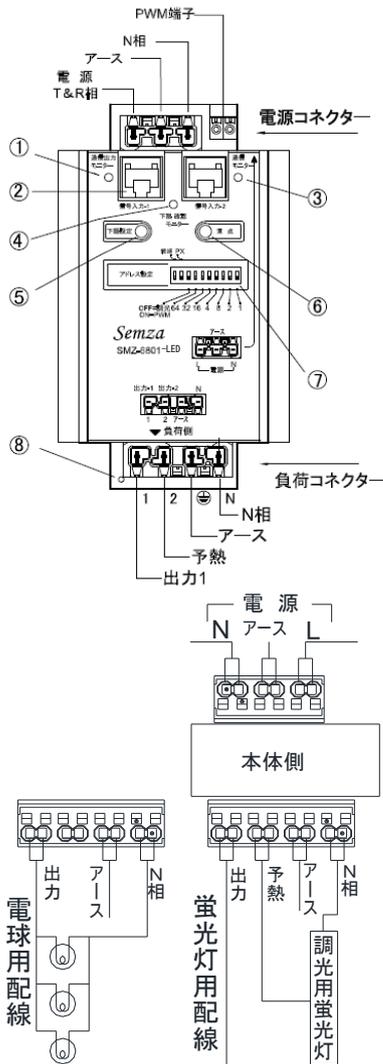
外形寸法 W 85 mm×H119 mm×D 138 mm

周波数 50・60Hz 自動検知

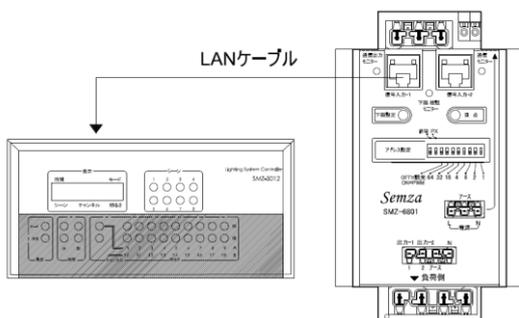
入力信号 DMX512

重量 約800g

■各部の名称と働き■ —イラストと現品は異なる場合があります—



各コネクターは送り用に同等の2極付いています。



■適合電線について

- * VVF1.6か2.0のケーブルで入力してください。
- 3.5sqmmなどのケーブルを使用する場合は棒端子を使用して下さい。

■電源の接続

- * Nに接地側を接続して下さい。
- * R,Tにホット側を接続して下さい(100V)
- * 電源には必ず保護ブレーカーを取付けて下さい。

■信号の接続

- * 信号線はLANケーブルのカテゴリ-5以上のものを使用して下さい。
- 信号線の長さは最長50Mです。

■負荷線の接続

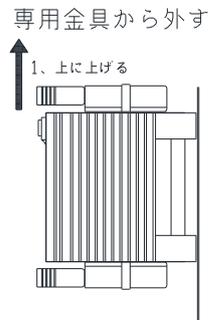
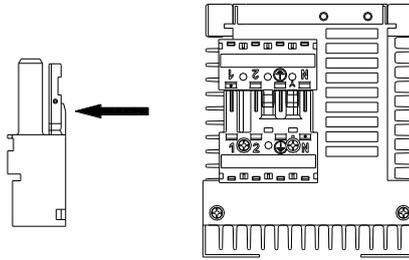
- * Nと出力を接続して下さい。

■操作器の接続

- * 当社の操作器には、この調光器よりLANケーブルで電源が供給されます。別の電源は不要です。
- * 調光ユニット数が少ない場合は操作器により、動作しない場合があります。別途、専用電源をご使用下さい。
- * 操作器に100v電源の付いている物は100vを供給して下さい。

■ユニットの取り替え

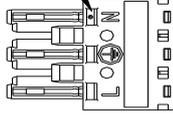
- * 電源又は負荷線を外す際には
ストッパーを押しながら
コネクターを上引き抜いて下さい。
- * 盤に取付けたユニットを外す際には
ユニットの出力(下)側を手前に
引いてから上に上げて下さい。



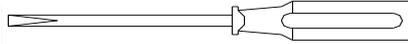
単線の場合はそのまま電線を挿入して下さい。(ドライバーの必要は無し)



検電穴



ドライバーの先端は2.5mm幅のものを使用して下さい。



ドライバーをドライバースロットに押し込み電線を挿入してドライバーを抜いて完了です。

① 通信モニター

通信線が接続され信号を受けると、約 0.2 秒間隔で点滅します。

② 信号入力コネクター

信号 DMX512 入力用のコネクターです。1つは送り用です。

③ 出力モニター

信号入力 50%以上で点灯します。

④ 下限確認モニター

下限設定がされている状態で点灯します。

⑤ 下限設定スイッチ

負荷側のチラツキ・バラツキが発生した場合に設定するスイッチです。

◀ 下限設定と解除 参照

⑥ 直点・調光スイッチ

調光側にセットすると外部動作信号により ON/OFF 出力 (負荷が点灯) されます。

直点側にすると外部動作信号に関係なく、負荷は常時点灯状態になります。スイッチは3秒長押ししてください。

⑦ アドレス設定スイッチ

DMXのチャンネルを設定するスイッチです。

◀ チャンネルの設定 参照

⑧ 負荷出力モニター

各出力回路が出力状態になると、点灯します。直点時も点灯します。

⑨ PWM 出力端子台

◀ ユニット設置に際しての注意点

- ・装置両側の換気口は 50mm 以上離して設置して下さい。ユニットを 5 台以上設置する場合は強制ファンを設置下さい。
- ・ユニット間は 15mm 以上離して設置してください。

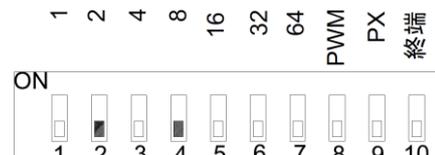
●チャンネルの設定方法●

各回路のチャンネル番号は個別に設定することができます。



例：7チャンネルに設定

ネルに設定



例：10チャンネルに設定

ンネルに設定

チャンネル番号は、図の上部に表記した数値を足した値に設定されます。

★注 意★

チャンネル設定後は、電源投入時のみ有効なので、設定後必ず電源を再投入してください。

● 下限設定について ●

照明器具により調光下限（照明が暗くなるように絞った状態）でちらつくとき、下限設定スイッチで下限設定すれば、設定した明るさ以下にはならないようにすることができます。ちらつく直前の明るさで下限設定スイッチを 3 秒間押してください。ただし調光レベルが一番低いときは、消灯となります。

< 下限設定方法 >

- ① 操作パネルにてチラツキ・バラツキが生じない明るさにしてください。
- ② 下限スイッチを 3 秒間押してください。

< 解除方法 >

- ① 操作器で調光ボリュームを「0」にしてください。
- ② 下限スイッチを 3 秒間押してください。

● PWM 設定について ●



< PWM 設定方法 >

- ① PWM スイッチを ON に切り替えてください
- ② 「チャンネル設定方法」を参考に PWM 器具に割り当てるチャンネルを設定してください

* 注 意 *

PWM 設定後は、電源投入時のみ有効なので、設定後必ず電源を再投入してください。

■ ご使用上の注意 ■ ー 装置を安全に末長くご使用して頂くために、次のことに注意下さい。

設置について

- 使用環境条件、周囲温度は 35℃以下 湿度 80%以下（結露しないこと）にて使用して下さい。
- ほこりなどが発生しないので通風の良い場所に設置して下さい。
- 調光器は調光時に多少の騒音が出ますが異常ではありません。騒音を嫌う場合は設置する場所を考慮して下さい。

電気工事について

- 負荷を接続する前に必ず点灯、絶縁試験を行ってから接続して下さい。（500V以下の絶縁試験器）
- 音響等への雑音は考慮して配線をして下さい。同電源は使用しないで下さい。
- 不適合な器具を使用しないでください。調光器を破損します。トランスは調光対策用を使用して下さい。
- 電源室からの距離が離れすぎている場合や電力の余裕が無く電源が歪んだ所ではフリッカを起こすことがあります。
- 専門技術者の管理のもとに行ない、過電流遮断器を装置の 1 次側に設けて下さい。

⚠ 製品は予告無く仕様を変更することがあります。イラストと現品は異なる場合があります。

〒175-0094 東京都板橋区成増 4-26-5 Tel.03-3938-5440 Fax.03-3939-2102
<http://www.web-sanko.net>

株式会社 **サンコーデバイス**